



東証スタンダード市場・名証メイン市場

証券コード:9221

フルハシEPO株式会社

2025年3月期

第2四半期決算説明会資料

2024年11月19日

主要トピックス



主要な事業領域

**木質廃棄物の
再資源化**
(バイオマテリアル事業)

中期経営計画策定

**Fuluhashi Sustainable
Plan 80th**
(2025年3月期～2028年3月期)

株主還元

中間配当 **14円**
年間配当 **28円** (予想)
(2025年3月期)

新規拠点展開

愛知第八工場(一宮)稼働
(2024年10月)
都市部を包括する
許認可工場全国21か所

目次

1. 会社概要
2. 第2四半期決算概要
3. 通期業績予想
4. トピックス

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

経営理念

世のため

人のため

地球のため

社員のため

持続可能な社会を

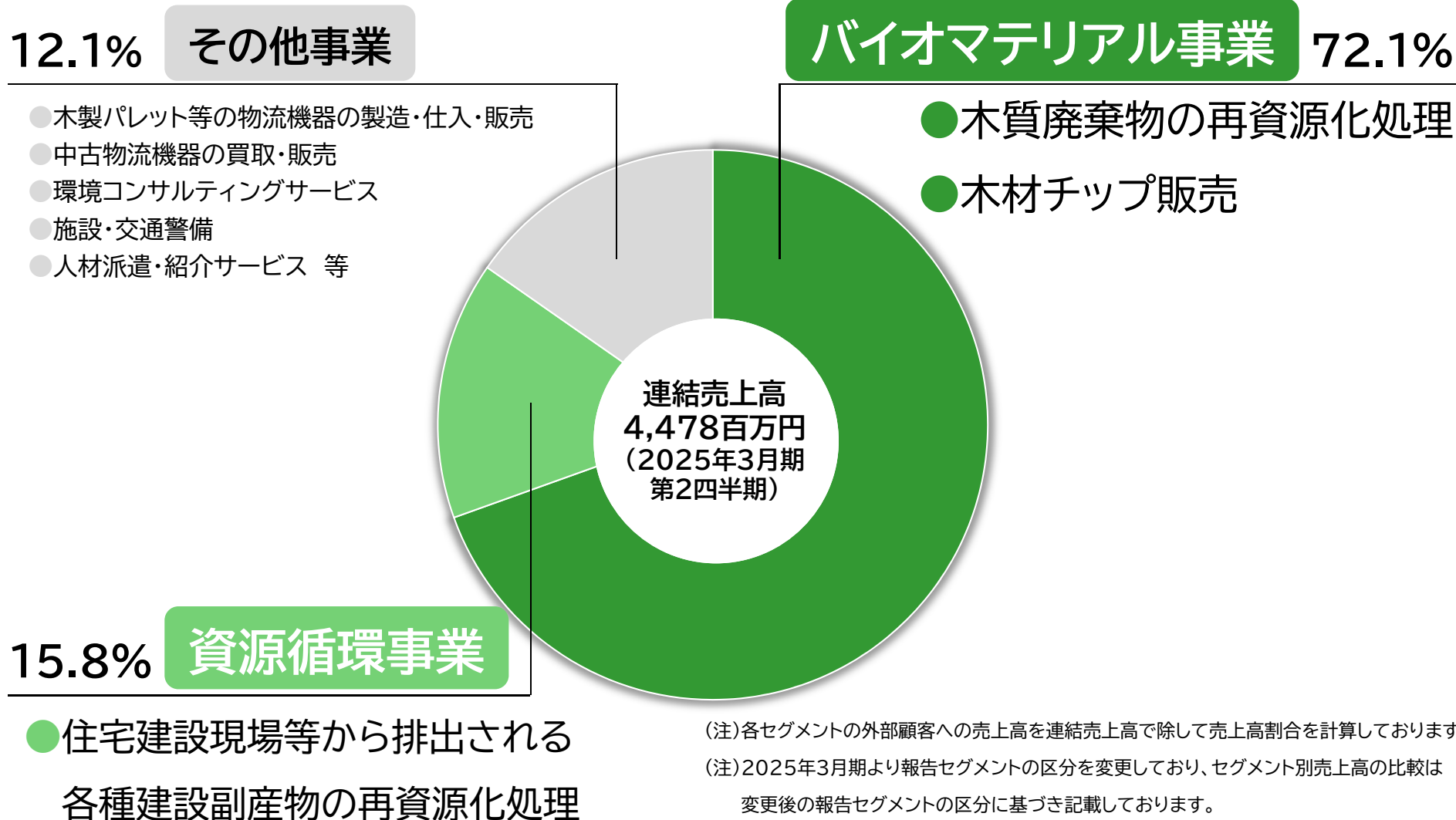
創造します

サステナビリティの推進



事業構成(売上高)

バイオマテリアル事業、資源循環事業、2つの事業を柱に
総合的な環境ソリューションを展開し、サーキュラーエコノミーの実現に貢献



(注)各セグメントの外部顧客への売上高を連結売上高で除して売上高割合を計算しております。

(注)2025年3月期より報告セグメントの区分を変更しており、セグメント別売上高の比較は変更後の報告セグメントの区分に基づき記載しております。

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

バイオマテリアル事業の概要

廃棄物排出事業者等から木質廃棄物の再資源化を受託し、
当社工場で木材チップに加工・製造し販売



当社が参画するバイオマス発電事業



木材チップの安定供給でカーボンニュートラルに貢献



川崎バイオマス発電所

(2011年2月稼働)

共同出資:住友共同電力(株)、住友林業(株)
(株)ジャパンバイオエナジーより燃料供給

- ・ 発電出力 約33,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約12万トン



CEPO半田バイオマス発電所

(2019年10月稼働)

共同出資:(株)シーエナジー<中部電力グループ>
当社愛知第七工場(半田)より燃料供給

- ・ 発電出力 約50,000kW(発電端)
- ・ CO2排出削減量 年間約15万トン

資源循環事業の概要

建設副産物の再資源化でサーキュラーエコノミー社会の実現に貢献



1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

第2四半期決算概要(業績ハイライト)



売上高

4,478百万円

前年同期比：6.4%増

営業利益

444百万円

前年同期比：9.6%減

中間純利益

444百万円

前年同期比：7.9%減

事業環境

- 雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加を背景に緩やかな回復の動きがみられたものの、不安定な国際情勢の長期化等によるエネルギー資源及び原材料価格の高騰、円安や物価上昇による個人消費への影響等、依然として先行きの不透明な状況

主な営業概況

- 主に東日本エリアによる新規獲得、既存シェアアップ等による木材チップ原料調達増
- 一昨年開設した岐阜第二工場(大垣)、西東京工場(入間)の順調な稼働
当エリアでの新規顧客獲得に注力
- 住宅着工件数低減による影響を受け資源循環事業の受注減

第2四半期決算概要(損益計算書)



(単位:百万円)

| | 2024年3月期 第2四半期 | 2025年3月期 第2四半期 | | | |
|---------------------|-------------------|----------------|-------|--------|-------|
| | 実績 | 実績 | 昨対比 | 構成比 | 予想 |
| 売上高 | 4,208 | 4,478 | +6.4% | 100.0% | 4,646 |
| 売上総利益 | 1,962 | 1,998 | +1.9% | 44.6% | 2,105 |
| 営業利益 | 491 | 444 | △9.6% | 9.9% | 519 |
| 経常利益 | 686 | 662 | △3.5% | 14.8% | 740 |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 482 | 444 | △7.9% | 9.9% | 514 |

主な要因

- バイオマテリアル事業で主に東日本エリアでの木材チップ原料調達増加、一昨年開設した岐阜第二工場(大垣)及び西東京工場(入間)が順調に稼働し売上高を押し上げた一方、資源循環事業の市況影響及びベースアップ・業務拡大に伴う人件費の増加影響

セグメント別売上高・利益(前年同期比)



(単位:百万円)

| | セグメント別売上高 | | | セグメント別利益 | | |
|------------|-----------|---------|--------|----------|---------|-------|
| | 2023年9月 | 2024年9月 | 前年同期比 | 2023年9月 | 2024年9月 | 前年同期比 |
| バイオマテリアル事業 | 3,051 | 3,262 | +6.9% | 432 | 469 | +8.6% |
| 資源循環事業 | 726 | 712 | △1.9% | 34 | △10 | — |
| その他事業 | 571 | 718 | +25.6% | 23 | △6 | — |
| 調整額 | △141 | △214 | — | 0 | △9 | — |
| 連結合計 | 4,208 | 4,478 | +6.4% | 491 | 444 | △9.6% |

(注)セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおります。
セグメント別利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

セグメント別売上高・利益(前年同期比)



バイオマテリアル事業

- 主に東日本エリアにおける新規顧客獲得、既存顧客のシェア拡大により安定的な原料調達に寄与
- 岐阜第二工場(大垣)及び西東京工場(入間)における順調な稼働
- 調達数量増加に伴う生産量増加及び販売単価改定効果影響

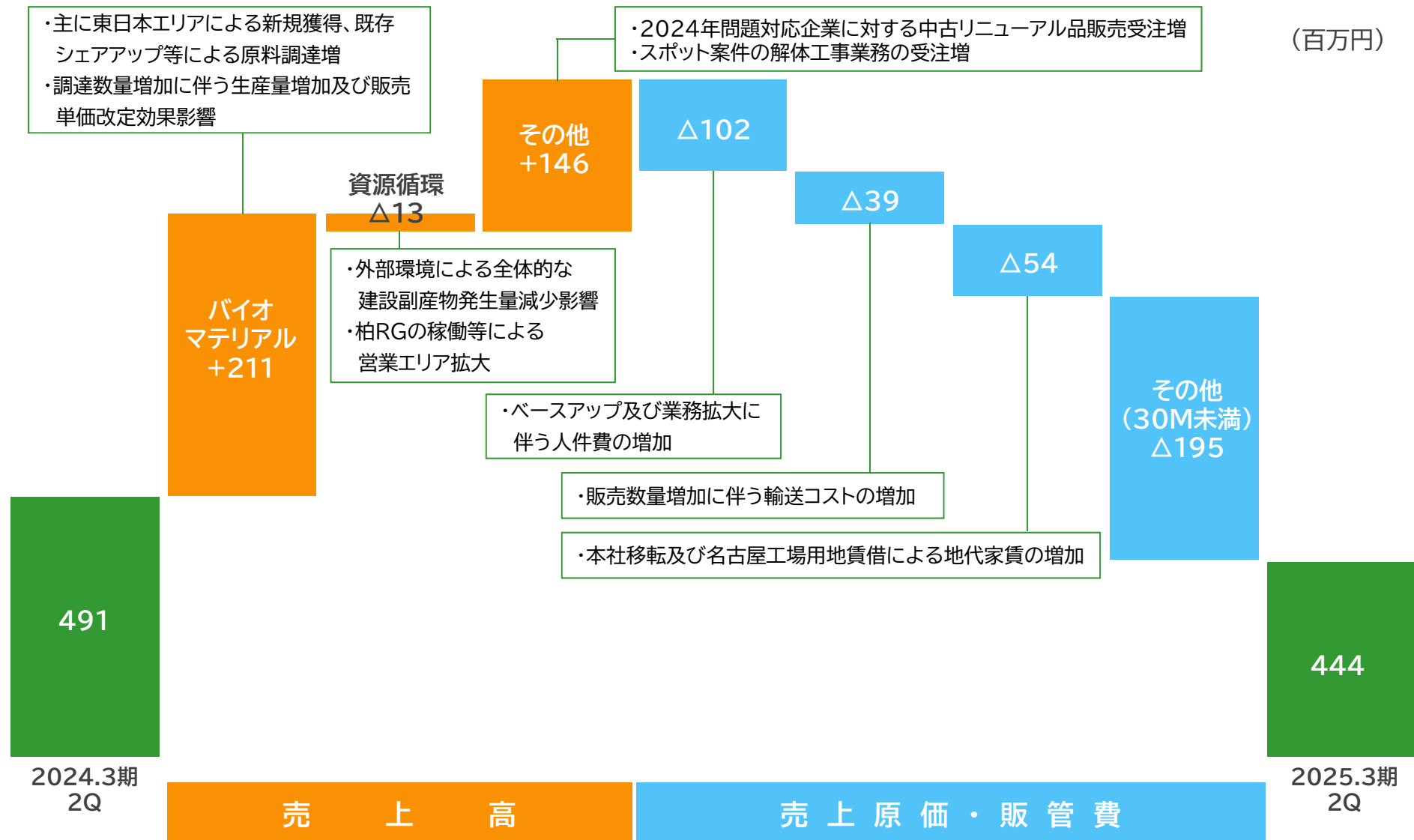
資源循環事業

- 住宅着工件数減少により、既存取引先での建設副産物の発生量が減少している状況
新規取引先確保やシェアアップ営業の実施にて受注回復を図る
- 柏リサイクルガーデンの稼働等、広範囲に対応した営業体制で受注確保に注力
- 生産性向上や外注費の削減による利益確保を推進

その他事業

- 2024年問題に取り組む企業に対し中古物流機器のリニューアル販売に注力
- 環境コンサルティングサービス事業において、今後の需要増加を見込んだ、人的投資を実施し体制を強化
- 営業利益の改善に向けた方針として、営業力の強化や管理費削減による経営効率や利益率の向上をはかり、収益確保を推進

営業利益増減要因分析(前年同期比)



第2四半期決算概要(貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書)



(単位:百万円)

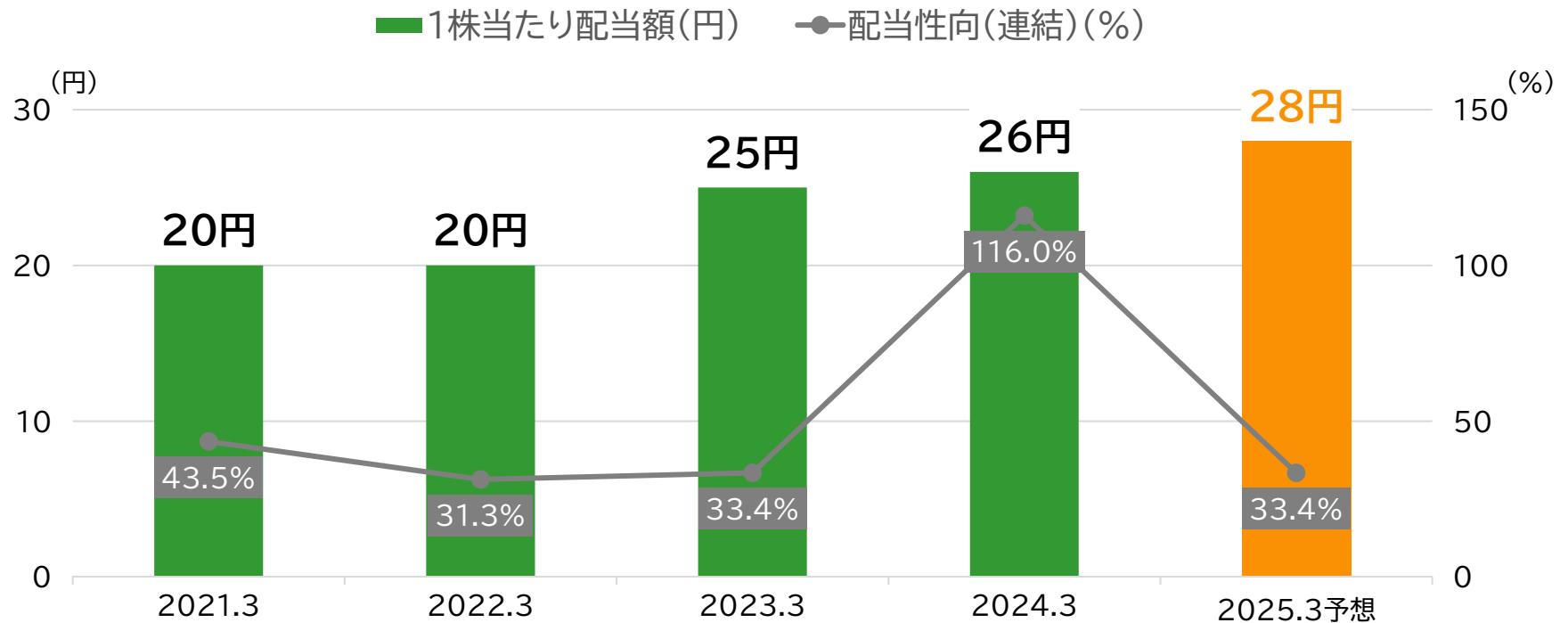
| | 2024年3月期 期末 | 2025年3月期 第2四半期 | | 主な要因 |
|----------|----------------|----------------|------|-------------|
| | | 実績 | 増減額 | |
| 流動資産 | 3,759 | 2,984 | △774 | 現預金の減少 |
| 固定資産 | 7,566 | 8,524 | 957 | 設備投資 |
| 資産合計 | 11,325 | 11,509 | 183 | |
| 流動負債 | 2,912 | 2,987 | 74 | 短期借入金の増加 |
| 固定負債 | 3,389 | 3,173 | △215 | 長期借入金の減少 |
| 純資産 | 5,023 | 5,348 | 324 | 配当金支払・純利益獲得 |
| 負債・純資産合計 | 11,325 | 11,509 | 183 | |

(単位:百万円)

| | 2024年3月期 第2四半期 | 2025年3月期 第2四半期 | | 主な要因 |
|--------------------|-------------------|----------------|--------|-----------|
| | | 実績 | 増減額 | |
| 営業キャッシュ・フロー | 981 | 669 | △312 | |
| 投資キャッシュ・フロー | △111 | △1,133 | △1,022 | 有形固定資産の取得 |
| 財務キャッシュ・フロー | △641 | △202 | 439 | 短期借入金の増加 |
| 現金及び現金同等物の 増減額 | 225 | △663 | △889 | |
| 現金及び現金同等物の 期末残高 | 2,684 | 1,649 | △1,034 | |

配当方針

- 安定性・継続性に配慮し、業績動向、財務状況等を総合的に勘案して実施
- **2025年3月期の中間配当及び期末配当**
足元の業績の堅調な推移及び今後の経営環境の見通し等を踏まえ、中間配当は直近の予想通り**14円**を実施。年間配当予想を**28円**とする。



(注) 連結配当性向は、有価証券報告書記載の「1株当たり配当額」を連結の「1株当たり当期純利益」にて除して算出しております。
2023年4月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。上記の数値は株式分割を適用して算出しております。

1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

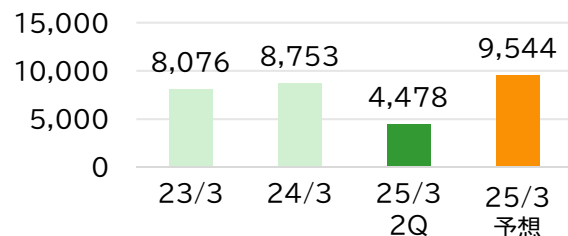
4. トピックス

通期業績予想

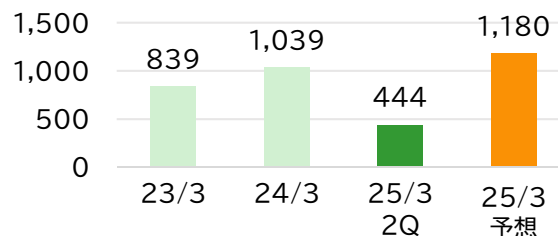
(単位:百万円)

| | 2024年3月期 | 2025年3月期 | | | 2025年3月期 2Q累計 | |
|-----------------|----------|----------|-----|---------|---------------|-------|
| | 実績 | 業績予想 | 増減額 | 増減率 | 実績 | 進捗率 |
| 売上高 | 8,753 | 9,544 | 790 | +9.0% | 4,478 | 46.9% |
| 売上高総利益 | 4,026 | 4,361 | 335 | +8.3% | 1,998 | 45.8% |
| 営業利益 | 1,039 | 1,180 | 140 | +13.5% | 444 | 37.6% |
| 経常利益 | 1,246 | 1,420 | 173 | +14.0% | 662 | 46.7% |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 263 | 985 | 722 | +274.4% | 444 | 45.1% |

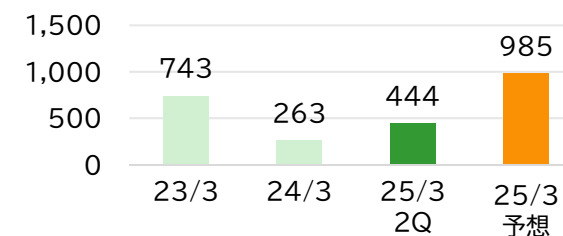
<売上高>



<営業利益>



<当期純利益>



1. 会社概要

2. 第2四半期決算概要

3. 通期業績予想

4. トピックス

Fuluhashi Sustainable Plan 80th



中計期間(2025年3月期～2028年3月期)において当社グループが重視する定量目標を定めています。

売上高

150億円

〈2025年3月期予想〉
95億円

営業利益

30億円

〈2025年3月期予想〉
11億円

営業利益率

20%

〈2025年3月期予想〉
12.4%

ROE

15%超

〈2025年3月期予想〉
18.4%

連結配当性向

35%目標

〈2025年3月期予想〉
33.4%

(注)M&A要素は含んでおりません。

(注)処理・販売価格の変動要素は含んでおりません。

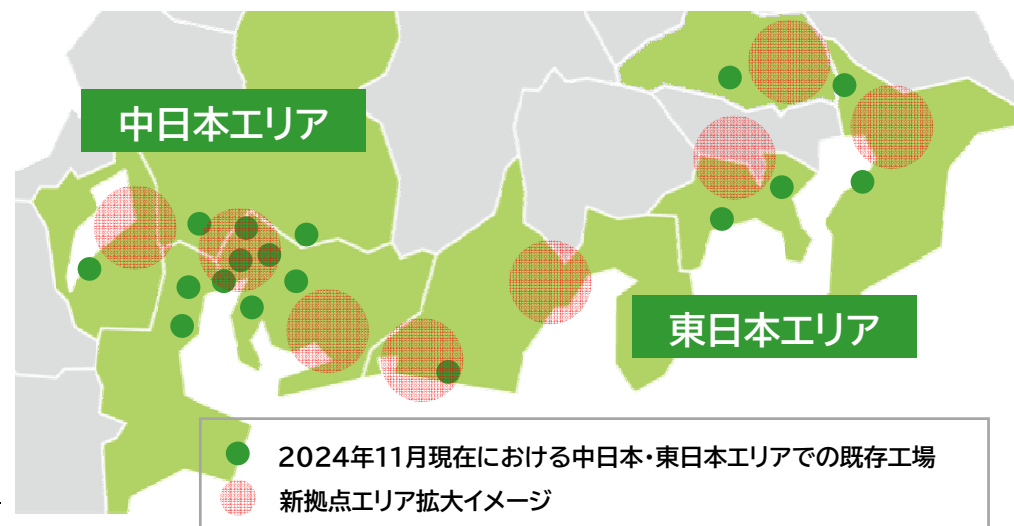
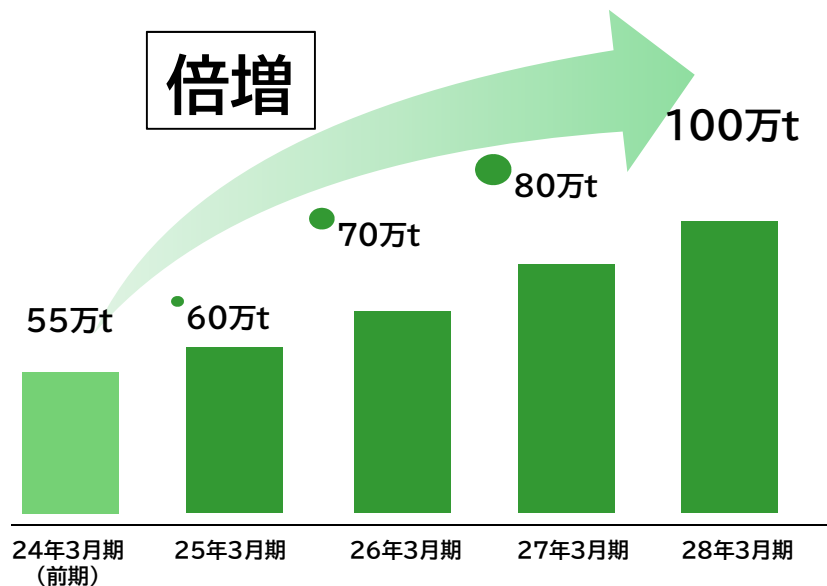
事業戦略(量的拡大)

木質再資源化の量的拡大を実現させるため、再資源化工場の増強を推進します。

4ヶ年合計で約100億円を投資し、中日本エリア及び東日本エリアを中心に工場を新設します。

KPI

年間 **100** 万t 木質バイオマス取扱量体制を目指す(国内シェア約10%)



(注)持分法適用会社の取扱量を含みます。

(注)当社推定の市場規模

出所 環境省「令和4年度事業 産業廃棄物排出・処理状況調査報告書」、環境省「令和4年度 廃棄物の広域移動対策検討調査及び廃棄物等循環利用量実態調査報告書」

事業戦略(量的拡大)



| 事業区分 | | 建設予定工場 | 稼働予定 |
|------------|----|---------------------------|----------------|
| バイオマテリアル事業 | 新設 | 愛知第八工場 (愛知県一宮市) | 2024年10月 稼働 |
| | 新設 | 名古屋工場 (愛知県名古屋市) | 2025年10月 |
| | 新設 | 滋賀工場(仮称) (滋賀県) | (未定) |
| 資源循環事業 | 増設 | 湘南リサイクルガーデン (神奈川県平塚市) | 2025年10月 |
| | 新設 | 東三河リサイクルガーデン(仮称) (愛知県) | (未定) |

新拠点開設(バイオマテリアル事業)



・愛知第八工場(一宮)



| | | | |
|-----|---------------------|------|---------------------------|
| 稼働日 | 2024年10月25日 | 敷地面積 | 2,995.57m ² |
| 住所 | 愛知県一宮市 高田字藪田31番地 | 許可番号 | 第13720028236号 (愛知県一宮市) |
| | | 生産量 | 30,000t/年 |

本社移転

移転先住所

愛知県名古屋市中区金山一丁目13番13号

移転日

2024年6月3日

目的

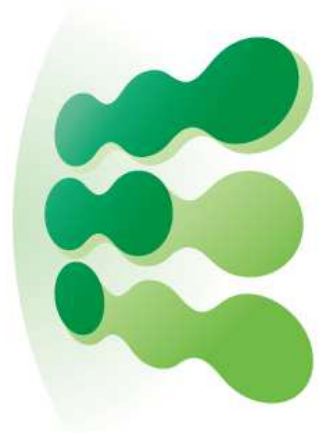
- ・経営基盤の強化と今後の企業成長を見込んだオフィススペースを確保し、従業員にとって働きやすい環境を整備する。
- ・関連部門間の連携を一層強化・促進させ、当社事業のさらなる成長につなげる。



2024年8月 統合報告書
「FULUHASHI EPO REPORT 2024」
を公開

- CSR及びガバナンス方針・体制の報告、財務・非財務情報の開示、各生産拠点のCO2排出量の推移の開示、環境・社会性の報告等、統合報告書として情報開示を強化





環境で未来をクリエイトする

FULUHASHI
EPO

本資料の取り扱いについて



■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

TEL:052-324-9088

会社概要



| | |
|---------|---|
| 社名 | フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION） |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 スタンダード市場、名古屋証券取引所 メイン市場 証券取引コード:9221 |
| 創業 | 1947年12月 |
| 設立 | 1948年2月 |
| 本社 | 名古屋市中区金山一丁目13番13号 |
| 資本金 | 1,507百万円(2024年9月末) |
| 従業員数 | 442名(連結:2024年9月末) |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none">● バイオマテリアル事業● 資源循環事業 |
| 関係会社 | <ul style="list-style-type: none">● 連結子会社:5社（国内3社・海外2社）● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内) |